

平成27年度関東東海北陸農業試験研究推進会議経営部会及び秋季研究会開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議

経営部会 部会長 仁平 恒夫

## 1. 趣 旨

近年の稲作農業を取り巻く情勢変化として、農地中間管理機構の創設、経営所得安定対策の見直し（米の直接支払交付金の半減と平成30年廃止）、平成30年以降の米生産数量目標配分の中止予告などが挙げられる。また、平成26年産米価の暴落と米の直接支払交付金の半減により収入が激減する中、大規模な水田経営は経営的に深刻な打撃を受けている。さらに、米価格の低下と市場縮小による競争激化の中で、米の産地間競争は新たな局面を迎えつつあり、従来、上位に位置していた良質米産地においても新たな経営対応が迫られる状況にある。

そこで、平成27年度の秋季研究会では、米の産出額が全国第1位の新潟県において、「大規模水田作経営の経営対応と課題」をテーマとして、経営環境が変化する中での水田農業経営の経営対応の現状と課題について現場を踏まえながら、対応策を検討することを目的とする。具体的には、新潟県の代表的な水田地帯の一つである新潟平野を中心に、大規模集落営農によるコスト低減、園芸導入による複合化、先導的な法人の経営発展事例から、経営環境変化への対応の実態を把握し、直面する課題について検討する。

2. 開催日程 平成27年10月20日（火）14:00 ～ 21日（水）15:00

3. 開催場所 アオーレ 市民協働センター会議室（新潟県長岡市）、三条市及び新潟市の農業生産法人、新潟市農業活性化センター

## 4. 議 事

(1) 関東東海北陸農業試験研究推進会議経営部会 10月20日（火） 14:00～17:00

会場：アオーレ西棟3階 市民協働センター会議室（長岡市）

議事：ア 国が重点的に研究開発を推進すべき技術的課題への対応について

イ 今年度の研究の進捗状況

ウ 今後推進すべき研究問題と研究戦略 等

18:00～20:00 情報交換会

(2) 経営部会秋季研究会 10月21日（水） 8:30～15:00

8:30 長岡駅前集合・出発

9:20～9:50 視察1 大規模集落営農組織：（農）尾崎泉地区生産組合（三条市栄地区）

10:40～11:10 視察2 複合化の推進：（有）グラナリー高畑（新潟市西蒲区）

13:00～15:00 検討会 新潟市農業活性化センター研修室

発表1 「新潟市農業活性化研究センターについて」

新潟市農業活性化研究センター 所長補佐 小俣俊明

発表2 「新潟県の農業経営を取り巻く環境変化と展望（仮）」

新潟県農林水産部経営普及課 農業革新支援担当 高橋一裕

発表3 「神谷生産組合の概況と課題」

(株)神谷生産組合 代表取締役 丸山信昭

総合検討 (司会) 中央農業総合研究センター 上席研究員 迫田登稔

## 5. 参集範囲

関東東海北陸地域公立試験研究機関・行政機関・普及機関、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、関東東山東海農業経営研究会関係者、農林水産政策研究所、農研機構内研究所、中央農業総合研究センター、その他部会長が必要と認めた者

## 6. 参加費 情報交換会 6,000 円（アトリウム長岡を予定）

## 7. 参加申込

参加を希望される方は、10月7日（水）までに別紙申込用紙にご記入の上、メールまたはFaxで事務局に申し込んで下さい。

20日の宿泊は長岡駅周辺にホテルがありますので、各自で手配くださいますようお願い致します。

21日の昼食は新潟市活性化センターの研修会場で食べていただきます。地場ものを基本に調理したお弁当にお茶付きで1000円、予約が必要です。なお、隣の直売所は定休日で、付近にコンビニ等はありません。

21日午後の検討会終了後、新潟駅までバスで移動します。新潟駅解散は15:40（予定）です。

## 8. 事務局および申込先

### 秋季研究会事務局及び申込先

新潟県農業総合研究所 基盤研究部経営・流通研究チーム（担当：牛腸 奈緒子）

〒940-0826 新潟県長岡市長倉町 857

TEL：0258-35-0826 FAX：0258-35-0021

E-mail：[gocho@ari.pref.niigata.jp](mailto:gocho@ari.pref.niigata.jp)

